

令和2年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲業務（イノシシ） 審査表

評価項目			評価内容	審査様式	配点
1	業務体制	①業務実施体制	事業管理責任者、捕獲従事者、事業従事者の業務経験は十分か。	様式2-1(1)	5
			業務実施体制の体系図は適切か(責任者や連絡系統が明確か)。	様式2-1(2)	5
			○業務が遂行可能な人員の確保がなされているか。 ○他の機関からの受託業務がある場合は、人員の手配・配置や対応方法は適切か。	様式2-1(1)(3)(4)	5
		②緊急時等の連絡体制	県との連絡調整及び事故発生時の連絡体制は適切か(通常時、緊急時、土日・夜間等)。	様式2-1(5)	5
2	知識・技術、 捕獲実績	①捕獲従事者に対する知識・ 技術向上のための取組	技術及び知識向上のための研修等の取組が適切に行われているか。	様式2-2(1)	5
		②事業者としての捕獲業務の実 績	組織としての捕獲業務の実績は十分にあるか。	様式2-2(2)①	5
			本業務に活用できる業務実績は十分にあるか。	様式2-2(2)②	5
		③千葉県(特に当該実施区域) での捕獲業務経験者の有無	千葉県内(特に当該実施区域)において当該鳥獣にかかる捕獲業務経験(契約に基づく捕獲)を豊富に有している捕獲従事者が事業者内に十分にいるか。	様式2-2(3)	5
3	捕獲	①捕獲方法	○実施地域の特性及びイノシシの生息密度が高くない地域であることを踏まえた、効果的な提案がされているか。 ○設置箇所(基)数、設置場所の選定方法、設置や運用する際の工夫について、設置するわなの種類ごとに効果的な提案がされているか。 ○箱わなについては、成獣メスを多く捕獲するための効果的な方法が提案されているか。 ○捕獲目標を達成できる根拠が明確である提案内容となっているか。	様式2-3(1)	30
			上記以外の観点で、捕獲効率を高める工夫について、効果的な提案がされているか。	様式2-3(2)	5
		②見回りの体制	わなを見回る体制は適切か。また、安全に配慮されているか。	様式2-3(3)	5
		③安全管理体制	○捕獲された個体の止めさしを確実かつ安全に行う方法が提案されているか。 ○捕獲業務を実施する際に、地域住民等への周知等の方法は適切か。	様式2-3(4)	10
		④捕獲個体処理	地域住民にも配慮した適切な捕獲個体の処理方法が提案されているか。	様式2-3(5)	5
4	経費見積		必要とされる相当金額が計上され、適正な金額となっているか。	様式3	5
合計					100